



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミルボン

コード番号 4919 URL <http://www.milbon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 龍二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 村井 正浩

TEL 06-6928-2331

四半期報告書提出予定日 平成27年10月30日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成26年12月21日～平成27年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	19,978	8.4	3,787	17.8	3,594	18.1	2,331	26.3
26年12月期第3四半期	18,437	5.3	3,215	△3.2	3,042	△2.8	1,845	△4.8

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 2,686百万円 (34.1%) 26年12月期第3四半期 2,002百万円 (△22.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	142.40	—
26年12月期第3四半期	112.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	29,612	25,619	86.5
26年12月期	28,138	24,104	85.7

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 25,619百万円 26年12月期 24,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	34.00	—	34.00	68.00
27年12月期	—	35.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成26年12月21日～平成27年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,900	6.6	4,661	4.7	4,369	3.6	2,630	0.3	160.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	16,558,617 株	26年12月期	16,558,617 株
27年12月期3Q	185,940 株	26年12月期	184,672 株
27年12月期3Q	16,373,324 株	26年12月期3Q	16,375,107 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善等に支えられた国内投資回帰の動きや、家計所得や雇用環境に改善傾向が見られるなど緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、アジアや米国などへの輸出が弱含んでいるほか、中国経済の減速懸念に端を発した株式市場の調整もあり、先行きは不透明な状況となっております。美容業界におきましても、人口動態の影響による集客難や新人スタッフの採用難という厳しい状況が続く中、美容室には多極化する顧客ニーズへの幅広い対応力が求められています。

このような状況のもと、当社グループは、美容室の中心顧客である40代女性と、美への意識が変わり始める20代半ばの女性のニーズに応えることが重要と考え、美容室に対して『社会で輝き続ける女性の「美への目覚めから意識の高まり」にまで応えるために、プロの専門性を高め生産性の向上を支援します』をテーマに取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、199億78百万円（前年同期比8.4%増）となりました。この主な要因は、ヘアケア用剤部門では、5月度発売の働く20代女性のための新ヘアケアブランド「ジェミールフラン」を始めとして、毛髪補修成分「CMADK」を配合した各ヘアケア製品が順調に推移していること、染毛剤部門では6月度発売の大人のロングヘアを美しく染められるグレイカラー剤（白髪染め）「オルディーブ クリスタル」が順調に推移していることによるものです。また、海外子会社におきましても、教育を中心とした美容室への活発な活動により有力美容室との取引が拡大しており、東アジアを中心に売上が順調に伸長していることも要因のひとつです。

営業利益は37億87百万円（同17.8%増）、経常利益は35億94百万円（同18.1%増）、四半期純利益は23億31百万円（同26.3%増）となりました。

部門別売上高及び国内海外別売上高は次のとおりです。

【連結部門別売上高】

(単位：百万円)

部門	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
ヘアケア用剤	10,436	56.6	11,618	58.1	1,181	11.3
染毛剤	6,654	36.1	7,129	35.7	475	7.1
パーマメントウェーブ用剤	1,167	6.3	1,076	5.4	△90	△7.8
その他	179	1.0	154	0.8	△24	△13.9
合計	18,437	100.0	19,978	100.0	1,541	8.4

【国内海外別売上高】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
国内売上高	16,562	89.8	17,455	87.4	892	5.4
海外売上高	1,874	10.2	2,523	12.6	648	34.6
合計	18,437	100.0	19,978	100.0	1,541	8.4

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して14億73百万円増加の296億12百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して6億75百万円増加の149億83百万円となりました。主な変動要因は、有価証券(合同運用指定金銭信託等)が29億99百万円、商品及び製品が7億8百万円それぞれ増加し、現金及び預金が28億49百万円、受取手形及び売掛金が3億75百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して7億97百万円増加の146億29百万円となりました。主な変動要因は、ゆめが丘工場の隣接地購入に伴う土地の増加4億11百万円、上場株式の時価上昇等により投資有価証券が2億80百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して85百万円減少の37億83百万円となりました。主な変動要因は、未払金が5億5百万円、未払法人税等が1億67百万円それぞれ減少し、買掛金が3億12百万円、賞与引当金が2億82百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して、大きな変動はありませんでした。

純資産は前連結会計年度末と比較して15億15百万円増加の256億19百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加11億65百万円と上場株式の時価上昇等によりその他有価証券評価差額金が2億9百万円、円安の影響により為替換算調整勘定が1億59百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の85.7%から86.5%となりました。期末発行済株式総数に基づく1株当たり純資産は、前連結会計年度末の1,472円10銭から1,564円76銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回予想(平成27年1月21日発表)からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が55,973千円減少し、利益剰余金が36,103千円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,386,867	4,537,148
受取手形及び売掛金	3,427,276	3,051,446
有価証券	—	2,999,975
商品及び製品	2,258,355	2,966,477
仕掛品	22,989	27,614
原材料及び貯蔵品	795,564	840,980
その他	460,762	606,394
貸倒引当金	△44,289	△46,621
流動資産合計	14,307,525	14,983,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,270,850	4,402,633
機械装置及び運搬具(純額)	1,076,672	1,062,606
土地	4,876,552	5,288,422
建設仮勘定	58,635	19,507
その他(純額)	248,178	295,027
有形固定資産合計	10,530,889	11,068,197
無形固定資産	448,856	378,641
投資その他の資産		
投資有価証券	1,908,728	2,189,188
退職給付に係る資産	257,649	280,393
その他	735,001	762,468
貸倒引当金	△49,681	△49,681
投資その他の資産合計	2,851,698	3,182,368
固定資産合計	13,831,443	14,629,207
資産合計	28,138,969	29,612,622
負債の部		
流動負債		
買掛金	503,378	816,265
未払金	1,841,629	1,336,255
未払法人税等	769,801	601,853
返品調整引当金	24,436	22,729
賞与引当金	89,198	371,656
その他	641,288	635,052
流動負債合計	3,869,733	3,783,812
固定負債		
退職給付に係る負債	20,238	28,787
その他	144,883	180,674
固定負債合計	165,121	209,461
負債合計	4,034,855	3,993,274

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	199,599	199,748
利益剰余金	21,655,660	22,821,379
自己株式	△535,654	△540,740
株主資本合計	23,319,606	24,480,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	368,519	577,525
為替換算調整勘定	310,899	470,138
退職給付に係る調整累計額	105,089	91,296
その他の包括利益累計額合計	784,508	1,138,960
純資産合計	24,104,114	25,619,347
負債純資産合計	28,138,969	29,612,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月21日 至平成27年9月20日)
売上高	18,437,602	19,978,880
売上原価	5,720,656	6,035,176
売上総利益	12,716,946	13,943,704
販売費及び一般管理費	9,501,350	10,156,440
営業利益	3,215,596	3,787,263
営業外収益		
受取利息	6,881	4,434
受取配当金	32,414	34,378
為替差益	3,116	2,818
社宅負担金	35,961	45,751
保険解約差益	45,717	44,020
その他	10,448	11,321
営業外収益合計	134,540	142,723
営業外費用		
売上割引	307,533	334,081
その他	132	1,740
営業外費用合計	307,665	335,822
経常利益	3,042,471	3,594,164
特別利益		
固定資産売却益	811	—
特別利益合計	811	—
特別損失		
固定資産除却損	23,530	11,225
特別損失合計	23,530	11,225
税金等調整前四半期純利益	3,019,752	3,582,939
法人税、住民税及び事業税	1,219,388	1,273,922
法人税等調整額	△45,344	△22,578
法人税等合計	1,174,044	1,251,343
少数株主損益調整前四半期純利益	1,845,707	2,331,595
四半期純利益	1,845,707	2,331,595

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月21日 至平成27年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,845,707	2,331,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,100	209,006
為替換算調整勘定	49,911	159,238
退職給付に係る調整額	—	△13,792
その他の包括利益合計	157,011	354,451
四半期包括利益	2,002,719	2,686,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,002,719	2,686,047
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは頭髮化粧品の製造、販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。